

# 神経病学

ナンバリング M3-S1-D05

責任者・コーディネーター		脳神経内科・老年科分野 前田 哲也 教授	
担当講座・学科（分野）		脳神経内科・老年科分野、脳神経外科学講座、放射線医学講座	
担当教員		前田 哲也 教授、板橋 亮 教授、赤松 洋祐 教授、別府 高明 教授、石塚 直樹 講師、工藤 雅子 講師、高橋 真 講師、鈴木 真紗子 講師、佐浦 宏明 講師、鈴木 美知子 講師、鈴木 智大 講師、石垣 大哉 講師、石橋 靖宏 非常勤講師、米澤 久司 非常勤講師	
対象学年	3	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義 36コマ 72.0時間
期間	通期		演習 0コマ 0.0時間 実習 0コマ 0.0時間

## ・学習方針（講義概要等）

日本の超高齢化社会からの神経学に対するニーズは増加の一途で、脳卒中やアルツハイマー病は介護を要する疾患の常に上位に位置する。かつて“治らない病気”の代表とされてきた脳神経疾患は“治せる病気”への変貌を遂げる分岐点に到達し、正しい神経学の習得は今後の充実した医療提供の使途となる医師には不可欠の学問である。ヒト神経系は、大脳など中枢神経と、骨格筋、内臓、皮膚に至る運動および感覚、さらに自律神経をも含めた末梢神経から構成され、ヒトがヒトとして生命活動を営むことに必要な全ての機能を制御する。神経学は神経系が司る意識や情緒、認知機能、運動、感覚、植物機能に関する解剖学、生理学、生化学、薬理学、病理学を統合した総合的学問であり、これらが侵される病態を対象とする全人的医学である。基礎医学に裏付けられた神経症候学を学習し、神経疾患に関する歴史を知り、最新のエビデンスを踏まえた各種疾患の診療について習得することが本講義の方針である。

## ・教育成果（アウトカム）

これまでに学んだ中枢神経、末梢神経、筋の解剖学、生理学、生化学、薬理学および病理学の基礎知識を土台にして神経疾患の歴史、病態、症候、検査および治療と予後について学ぶことで、神経学の基本を習得することができる。  
本講義で身につけた学識、すなわちアウトカムは臨床実習に出てStudent Doctorとして診療を実践するために必要不可欠な素養でもあることを理解し講義に望む。

（ディプロマ・ポリシー： 1,2,3,4,5,6,7,8 ）

## ・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	基礎医学の知識の上に立って、脳、脊髄、末梢神経および筋の正常構造と機能を説明できる。
2	神経診断学の基本的知識である神経解剖学に基づいた神経症候学について、高位診断も含む病巣診断における病的意義およびその重要性を説明できる。
3	診断に必要な検査の基本的知識として、神経心理学的検査、神経生化学における脳脊髄液検査、神経電気生理学における脳波、末梢神経伝導検査、筋電図、誘発電位などの方法、重要性を説明できる。
4	X線CT、MRI、脳血管撮影、脳血流シンチグラフィなどの核医学検査に関する神経放射線学的基礎知識を習得した上で、各神経疾患に特徴的な画像所見を説明できる。
5	脳血管疾患、脳脊髄腫瘍、変性疾患、脱髄疾患、代謝性疾患、機能的疾患、感染症、中毒性疾患、外傷および奇形などの中枢性疾患について、内科的および外科的な基本的知識を説明できる。
6	脊髄疾患、末梢神経および筋疾患について基本知識を説明できる。
7	成人とは異なる小児に特有な神経学的所見、症状を良く理解し、小児神経疾患の基本的知識について説明できる。

・ 講義場所

講義：東1-0講義室

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはWebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号	事前事後学修/ICT
講義	5/11(月)	5	脳神経内科・老年科分野	板橋 亮 教授	脳血管障害（虚血性脳血管障害-脳卒中の概要，神経症候と脳血管解剖）	1,2,5	【事前学修】 推薦図書、参考書を読んで、脳卒中の概要，脳卒中の症候と脳血管の解剖について確認しておく。所要時間90分以上 【事後学修】 虚血性脳血管障害の症候と神経局在，脳血管解剖の関係に関して，講義資料で復習した上で推薦図書や参考書で知識を補完し，各自でまとめること。所要時間90分以上 【ICT】 WebClass
講義	5/13(水)	1	脳神経内科・老年科分野	高橋 真 講師	神経変性疾患（パーキンソン病）	1,2,4	【事前学修】 推薦図書や参考書を用いて変性疾患、大脳基底核の機能解剖学、錐体外路症状について予習しておくこと。所要時間 60分以上 【事後学修】 講義で学んだ内容を講義資料を用いて復習し自身の予習内容を補完する。所要時間 120分以上 推薦図書や参考書などを用いて自らの学識を深める。 【ICT】 WebClass
講義	5/13(水)	2	脳神経内科・老年科分野	高橋 真 講師	神経変性疾患（パーキンソン病関連疾患）	1,2,4	【事前学修】 推薦図書や参考書を用いてパーキンソニズムを呈する疾患を可能な限り挙げて概要を予習しておくこと。所要時間 60分以上 【事後学修】 講義で学んだ内容を講義資料を用いて復習し自身の予習内容を補完する。所要時間 120分以上 推薦図書や参考書などを用いて自らの学識を深める。 【ICT】 WebClass
講義	5/18(月)	5	脳神経内科・老年科分野	前田 哲也 教授	成人の筋疾患および神経筋接合部疾患（筋ジストロフィーなど）	1,4	【事前学修】 推薦図書や参考書を用いて骨格筋の解剖学および組織学、筋病理学をおさらいしておく。所要時間90分以上 【事後学修】 講義で学んだ内容を講義資料を用いて復習し自身の予習内容を補完する。所要時間90分以上 推薦図書や参考書などを用いて自らの学識を深める。 【ICT】 WebClass

講義	5/19(火)	2	脳神経内科・ 老年科分野	高橋 真 講師	自律神経疾患	1,2,3,4	<p>【事前学修】 自律神経系の神経解剖を推薦図書や参考書などを読んで予習しておく。所要時間60分以上</p> <p>【事後学修】 自律神経系の機能解剖学と関連する神経疾患を、講義資料を用いて保管する。所要時間 120分以上 自身で作図票を行うなどしてまとめること。 【ICT】 WebClass</p>
講義	5/20(水)	2	脳神経外科学 講座	佐浦 宏明 講師	脳腫瘍（良性腫瘍： 間脳・下垂体腫瘍以外）	1,2,3,4	<p>【事前学修】 中枢神経解剖、生理について、病気が見える Vol.7などを参考にして、該当疾患と関連させつつ復習する。所要時間 90分以上</p> <p>【事後学修】 頭蓋内良性腫瘍、特に髄膜腫と神経鞘腫について、発生部位、症状、診断および治療までの一連を簡潔にまとめること。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClass</p>
講義	5/26(火)	2	脳神経外科学 講座	別府 高明 教授	脳腫瘍（悪性腫瘍： 神経膠腫・胚細胞性腫瘍・転移性脳腫瘍・その他）	1,2,4	<p>【事前学修】 各悪性脳腫瘍の病態や治療について教科書を読んで自分なりに説明文を作成する。神経また、解剖学や神経生理学の基礎を教科書を用いて復習を行う。所要時間 90分以上</p> <p>【事後学修】 各悪性脳腫瘍の臨床的特徴をまとめる。発生部位による症状、診断、治療について整理する。また、医師国家試験でどのような形で出題されているかを確認する。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClass</p>
講義	5/27(水)	1	脳神経内科・ 老年科分野	工藤 雅子 講師	神経心理学	2,3	<p>【事前学修】 推薦図書や参考書を用いて高次脳機能、大脳局在について勉強し概要を理解する。所要時間 90分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ失語、失行、失認、記憶障害の病巣と病態、主要症候について各自まとめる。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClass</p>

講義	5/27(水)	2	脳神経内科・ 老年科分野	工藤 雅子 講師	一次性頭痛	1,4,5	<p>【事前学修】 推薦図書や参考書を用いて 一次性頭痛の主要疾患、症 候について説明できるよう 予習をする。所要時間 90 分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ一次性頭痛の 症候・治療および日常生活 支障度について各自説明で きるようにまとめること。 所要時間 90分以上</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
講義	6/2(火)	2	脳神経内科・ 老年科分野	石橋 靖宏 非常 勤講師	てんかん	1,2	<p>【事前学修】 推薦図書や参考書を用いて 一次性頭痛の主要疾患、症 候について説明できるよう 予習をする。所要時間 90 分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ一次性頭痛の 症候・治療および日常生活 支障度について各自説明で きるようにまとめること。 所要時間 90分以上</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
講義	6/3(水)	1	脳神経外科学 講座	赤松 洋祐 教授	脳血管障害（脳内出 血をきたす疾患）	1,2,3,4,5	<p>【事前学修】 脳内出血をきたす疾患の病 態や治療について教科書を 読んで自分なりに説明文を 作成する。神経また、解剖 学や神経生理学の基礎を教 科書を用いて復習を行う。 所要時間 90分以上</p> <p>【事後学修】 脳内出血をきたしうる疾患 をまとめる。特に高血圧性 脳出血や脳動静脈奇形の原因、 好発部位、症状、診 断、治療について整理す る。また、医師国家試験で どのような形で出題されて いるかを確認する。所要時 間 90分以上</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
講義	6/3(水)	2	脳神経内科・ 老年科分野	前田 哲也 教授	神経変性疾患（運動 失調症）	1,2,3,4,5	<p>【事前学修】 推薦図書や参考書を用いて 小脳の機能解剖学と症候学 について予習しておくこ と。所要時間90分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ内容を講義資 料を用いて復習し自身の予 習内容を補完する。所要時 間90分以上推薦図書や参考 書などを用いて自らの学識 を深める。</p> <p>【ICT】 WebClass</p>

講義	6/10(水)	1	脳神経内科・ 老年科分野	鈴木 真紗子 講師	神経感染症 1	1,2,3,4,5	<p>【事前学修】 推薦図書や参考書を用いて神経に感染する細菌、真菌、原虫、寄生虫など基礎について予習しておくこと。所要時間90分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ内容を講義資料を用いて復習し自身の予習内容を補完する。国家試験問題集に掲載されている神経における細菌、真菌、原虫、寄生虫感染症の過去問の演習を行い出題されるポイントを把握しておくこと。所要時間 90分以上</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
講義	6/10(水)	2	脳神経内科・ 老年科分野	板橋 亮 教授	脳血管障害（虚血性 脳血管障害-脳梗塞の 病態と画像）	1,4,5	<p>【事前学修】 推薦図書、参考書を読んで、脳梗塞の分類や病態、脳の画像診断で用いる各モダリティの特徴に関して把握しておく事。所要時間90分以上</p> <p>【事後学修】 脳梗塞の分類や病態、画像診断に関して、講義資料で復習した上で推薦図書や参考書で知識を補完し、各自でまとめること。所要時間90分以上</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
講義	6/17(水)	1	脳神経内科・ 老年科分野	鈴木 真紗子 講師	神経感染症 2	1,2,3,4,5	<p>【事前学修】 推薦図書や参考書を用いて神経ウイルス感染症について予習しておく。所要時間90分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ神経ウイルス感染症の病態や特徴を各自で簡潔にまとめる。国家試験問題集に掲載されている視神経脊髄炎の過去問の演習を行い出題されるポイントを把握しておくこと。所要時間 90分以上</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
講義	6/17(水)	2	脳神経内科・ 老年科分野	前田 哲也 教授	成人の筋疾患および 神経筋接合部疾患 (炎症性・代謝性など)	1,2,3,4,5	<p>【事前学修】 推薦図書や参考書を用いて骨格筋の解剖学および組織学、筋病理学をおさらいしておく。所要時間90分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ内容を講義資料を用いて復習し自身の予習内容を補完する。所要時間90分以上</p> <p>推薦図書や参考書などを用いて自らの学識を深める。</p> <p>【ICT】 WebClass</p>

講義	6/24(水)	1	脳神経内科・ 老年科分野	板橋 亮 教授	脳血管障害（虚血性 脳血管障害-脳梗塞の 急性期治療と予防）	1,4,5	【事前学修】 推薦図書、参考書を読ん で、脳梗塞の急性期治療と 予防に関して大まかに把握 しておく事。所要時間 90 分以上 【事後学修】 脳梗塞の治療および予防に 関して、講義資料で復習し た上で推薦図書や参考書で 知識を補完し、各自でまと めること。所要時間 90分 以上 【ICT】 WebClass
講義	6/24(水)	2	脳神経内科・ 老年科分野	前田 哲也 教授	成人の筋疾患および 神経筋接合部疾患 （重症筋無力症な ど）	1,2,3,4,5	【事前学修】 推薦図書、参考書などを用 いて神経筋接合部の神経伝 達機構について予習し神経 伝達物質の特徴を整理して おく。所要時間90分以上 【事後学修】 講義で学んだ内容を講義資 料を用いて復習し自身の予 習内容を補完する。所要時 間90分以上 推薦図書や参考書などを用 いて自らの学識を深める。 【ICT】 WebClass
講義	9/30(水)	1	脳神経内科・ 老年科分野	米澤 久司 非常 勤講師	神経疾患のケースス タディ	1,2,3,4	【事前学修】 神経内科の各論について、 Minimum Essenceを全体的に 予習する。所要時間60分以 上 【事後学修】 講義で取り上げたケースに ついて、検査・診断・治療 の要点を箇条書きでまとめ ること。所要時間120分以上 【ICT】 WebClass
講義	9/30(水)	2	脳神経外科学 講座	赤松 洋祐 教授	脳血管障害（閉塞性 疾患の外科的治療）	1,2,3,4,5 ,6	【事前学修】 虚血性脳血管障害をきたす 疾患の病態や治療について 教科書を読んで自分なりに 説明文を作成する。神経ま た、解剖学や神経生理学の 基礎を教科書を用いて復習 を行う。所要時間 90分以 上 【事後学修】 虚血性脳血管障害の臨臨床 特徴をまとめる。原因、脳 循環病態、症状、診断、治 療について整理する。ま た、医師国家試験でどのよ うな形で出題されているか を確認する。所要時間 90 分以上 【ICT】 WebClass

講義	10/7(水)	1	脳神経外科学講座	赤松 洋祐 教授	脳血管障害（クモ膜下出血をきたす疾患）	1,2,3,4,5	【事前学修】 中枢神経解剖及び神経放射線学的性状所見を復習する。所要時間 90分以上 【事後学修】 くも膜下出血の臨床各論を整理すると共に、医師国家試験でどのような形で出題されているか、オープン問題や解説本及びWebで確認する。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClass
講義	10/7(水)	2	放射線医学講座	鈴木 美知子 講師	脳腫瘍の画像診断	1,3,4	【事前学修】 脳画像解剖について神経科学の講義資料などで復習する。所要時間90分以上 【事後学修】 脳腫瘍を好発部位と好発年齢で整理し、それぞれの画像所見を簡潔にまとめること。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClass
講義	10/14(水)	1	脳神経外科学講座	佐浦 宏明 講師	先天異常・発生異常による疾患（先天奇形）／機能的脳外科（片側顔面けいれん、突発性三叉神経痛）	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 小児奇形や機能的疾患の特徴について、病気が見えるVol.7などを参考に理解する。所要時間 90分以上 【事後学修】 各疾患の概念、病態機序、画像所見、治療法について簡潔にまとめること。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClass
講義	10/14(水)	2	脳神経内科・老年科分野	前田 哲也 教授	先天異常・発生異常による疾患（母斑症）	1,4	【事前学修】 推薦図書や参考書を用いて基礎遺伝学について予習しておくこと。所要時間90分以上 【事後学修】 講義で学んだ内容を講義資料を用いて復習し自身の予習内容を補完する。所要時間90分以上 推薦図書や参考書などを用いて自らの学識を深める。 【ICT】 WebClass
講義	10/21(水)	1	脳神経内科・老年科分野	鈴木 真紗子 講師	脱髄性疾患（多発性硬化症）	1,2,3,4,5,6	【事前学修】 推薦図書、参考書などを用いて多発性硬化症と視神経脊髄炎について予習する。所要時間 90分以上 【事後学修】 講義内容に関して配布資料を中心に重要なポイントをまとめる。国家試験問題集に掲載されている多発性硬化症の過去問の演習を行い出題されるポイントを把握しておくこと。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClass

講義	10/21(水)	2	脳神経内科・ 老年科分野	石塚 直樹 講師	代謝性疾患／中毒お よび欠乏性疾患	1,3,4,5	【事前学修】 推薦図書や参考書を用いて 代謝性神経疾患のアウトラ インについて予習しておく こと。所要時間60分以上 【事後学修】 講義で学んだ内容を講義資 料を用いて復習し自身の予 習内容を補完する。所要時 間 120分以上 推薦図書や参考書などを用 いて自らの学識を深める。 【ICT】 WebClass
講義	10/28(水)	1	放射線医学講 座	鈴木 美知子 講 師	脳血管障害（脳血管 障害の画像診断）	1,4,5	【事前学修】 脳血管解剖について神経科 学の講義資料などで復習す る。所要時間90分以上 【事後学修】 各疾患の画像所見を画像検 査法ごとに簡潔にまとめる こと。所要時間90分以上 【ICT】 WebClass
講義	10/28(水)	2	放射線医学講 座	鈴木 智大 講師	頭蓋底・脊髄疾患の 画像診断	1,4,5	【事前学修】 頭蓋底・脊髄の解剖を復習 する。所要時間60分以上 【事後学修】 頭蓋底・脊髄の画像解剖の 要点をまとめておく。所要 時間120分以上 【ICT】 WebClass
講義	11/4(水)	1	脳神経内科・ 老年科分野	工藤 雅子 講師	神経変性疾患（認知 症疾患）	2,4,5	【事前学修】 神経病学前期講義「神経心 理学」の配布資料を読み、 高次大脳機能障害（特に記 憶障害）について復習す る。所要時間 90分以上 【事後学修】 講義で学んだAlzheimer病お よびその他認知症の主要症 候と治療について各自まと める。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClass
講義	11/4(水)	2	脳神経内科・ 老年科分野	石塚 直樹 講師	全身疾患における神 経障害	1,3,4,5	【事前学修】 糖のエネルギー産生の経路 について復習しまとめてお く。教科書、推薦図書、参 考書を読んで神経症状を生 じる内分泌系疾患について 予習しておく。所要時間60 分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を読み、 ビタミン欠乏による神経障 害、内分泌系疾患、自己免 疫に異常を生じる疾患の病 態と症状を理解し説明がで きるよう復習すること。所 要時間 120分以上 【ICT】 WebClass

講義	11/11(水)	1	脳神経内科・ 老年科分野	鈴木 真紗子 講師	脱髄性疾患（その他）	1,4	【事前学修】 推薦図書、参考書などを用いて視神経脊髄炎について予習する。所要時間 90分以上 【事後学修】 講義で学んだ疾患の病態や特徴を各自で簡潔にまとめる。国家試験問題集に掲載されている視神経脊髄炎の過去問の演習を行い出題されるポイントを把握しておくこと。所要時間90分以上 【ICT】 WebClass
講義	11/11(水)	2	脳神経内科・ 老年科分野	前田 哲也 教授	脊髄・脊椎疾患（脊髄症候学など）	5	【事前学修】 頭蓋底・脊髄の解剖を復習する。所要時間 90分以上 【事後学修】 頭蓋底・脊髄の画像解剖の要点をまとめておく。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClass
講義	11/18(水)	1	脳神経外科学 講座	石垣 大哉 講師	脊髄・脊椎疾患（脊髄腫瘍・脊髄空洞症など）	1,2,3,4,5,6	【事前学修】 推薦図書や参考書を用いて皮質脊髄路と脊髄視床路の解剖学を予習しておくこと。所要時間90分以上 【事後学修】 講義で学んだ内容を講義資料を用いて復習し自身の予習内容を補完する。所要時間90分以上 推薦図書や参考書などを用いて自らの学識を深める。 【ICT】 WebClass
講義	11/18(水)	2	脳神経内科・ 老年科分野	石塚 直樹 講師	神経変性疾患（運動ニューロン病・その他の脊髄疾患など）	1,2,5	【事前学修】 運動ニューロンの解剖学と組織学を予習しておくこと。所要時間 30分以上 【事後学修】 講義で学んだ内容を講義資料を用いて復習し自身の予習内容に疾患を結びつけてを補完する。所要時間 150分以上 推薦図書や参考書などを用いて自らの学識を深める。 【ICT】 WebClass
講義	12/2(水)	1	脳神経内科・ 老年科分野	前田 哲也 教授	末梢神経障害（検査）	1,4	【事前学修】 推薦図書や参考書を用いて末梢神経障害の総論について予習しておく。所要時間 90分以上。 【事後学修】 講義で学んだ内容を講義資料を用いて復習し自身の予習内容を補完する。所要時間90分以上 推薦図書や参考書などを用いて自らの学識を深める。 【ICT】 WebClass

講義	12/2(水)	2	脳神経内科・老年科分野	前田 哲也 教授	末梢神経障害（遺伝性・炎症性など）	1,2,3,4,5	<p>【事前学修】 推薦図書や参考書を用いて末梢神経障害の総論について予習しておく。所要時間90分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ内容を講義資料を用いて復習し自身の予習内容を補完する。所要時間90分以上 推薦図書や参考書などを用いて自らの学識を深める。 【ICT】 WebClass</p>
----	---------	---	-------------	----------	-------------------	-----------	--

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
推薦図書	ベッドサイドの神経の診かた 改訂18版	田崎義昭、斎藤佳雄 著	南山堂	2016
推薦図書	臨床のための神経機能解剖学	後藤文男、天野隆弘 著	中外医学社	1992
推薦図書	脳神経内科 改訂5版	神田隆 著	中外医学社	2024
推薦図書	神経内科ハンドブック 第5版 鑑別診断と治療	水野美邦 編	医学書院	2016
参考書	病気が見える vol.7 脳・神経 第2版	医療情報科学研究所 編集	メディックメディア	2017
推薦図書	ニュースタンダード脳神経外科学 第5版	生塩之敬ほか編	三輪書店	2024
推薦図書	標準脳神経外科学 第16版	富永悌二 監修	医学書院	2024
参考書	神経症候学を学ぶ人のために	岩田誠 著	医学書院	1994
参考書	神経内科疾患の画像診断 第2版	柳下章 著	秀潤社	2019
推薦図書	脳卒中ビジュアルテキスト 第4版	荒木信夫、高木誠、厚東篤生 著	医学書院	2015

・成績評価方法

【総括評価】

中間試験（前期進級試験）30%、進級試験成績（後期進級試験）70%で評価し、100点満点の60点以上を合格とする。  
なお、後期進級試験範囲には前期進級試験範囲を含む。

【形成的評価】

講義終了後に自由ディスカッションを設けて学生の事前学習度を評価し疑問を解決する。また前回講義の振り返り、実践的な試験問題の事後解説あるいは小テストなどを行い、講義内容の理解度を確認しその結果を学生にフィードバックする。  
各講師が担当講義におけるルーブリックを設定し事前学習と事後学習の評価基準を示す。学習の見通しと学習成果の集約について、学生に目的および成果意識をもたせる。

到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1～7	1～8	30			70			100
合計		30			70			100

・特記事項・その他

I. 脳神経系の検査

1. 神経生理検査
2. 神経放射線検査
3. 神経心理検査
4. 脳脊髄液検査

II. 脳神経疾患

1. 脳血管疾患
2. 脳脊髄腫瘍
3. 神経感染症
4. 神経変性疾患
5. 脱髄性神経疾患
6. てんかん
7. 頭痛
8. 代謝性神経疾患
9. 中毒および欠乏性神経疾患
10. 末梢神経疾患
11. 自律神経疾患
12. 筋疾患
13. 神経筋接合部疾患
14. 全身疾患に伴う神経障害
15. 先天異常・発生異常による疾患
16. 脊椎脊髄疾患
17. 機能外科的治療

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書を用いて学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。講義資料はWebclassで配信する。

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・教育資源

教科書・参考書、講義室、PC、インターネット環境

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	筋電計	1	実習用
講義	脳波計	1	実習用
講義	ノートパソコン レッツノートQV1	2	実習指導、データ解析・研究指導、試
講義	デスクトップパソコン FMVF90H2B	1	講義用
講義	MacBook Pro	3	講義資料作成
講義	NAS	3	講義資料作成